

# 5000カ所3万人へ「支部主役」で視聴会を無数に開き「知らぬ者なし」の宣伝・案内を

成功へ近畿選対部長会議

19日、近畿オンライン演説会成功へ近畿6府県の選対部長会議が党大阪府委員会事務所で開かれました（滋賀・奈良・和歌山はリモート参加）。近畿ブロックから報告。



●成功へ手応えがあるが取り組みは一部「6府県合同のオンラインによる初めての演説会」。意欲は非常に大きく、視聴の条件・環境の広がりなど成功への手応えが生まれているが、取り組み支部が19%で一部、未経験による戸惑いもあることを指摘しました。

●今後の取り組み 総選挙へ大決起の場。意義と「なぜオンラインか」の徹底を▽「4つの意義」（総選挙勝利への大決起の場、全支部・後援会参加、「特別期間」の諸課題の結節点、オンラインは選挙勝利の必須の取り組み）の徹底

▽情勢は激動、その場から選挙勝利へ足を踏み出すには「DVDによる後から視聴」でなく「オンラインによる同時視聴」でなければならないことを分かってもらう

▽「SNSに取り組みずして選挙勝利なし」の立場に立ち切ることを、技術的問題をクリアするうえで援助チームも作り、集団の知恵と個別の援助を。苦労は多いが、必ず生きる。

▽「全支部参加」を貫き、全支部がどこで視聴するかを決めることに全力をあげる。「数人で一緒に見る」ことを重視する▽演説会の後は「集い」になる一党員拡大の場に

▽「第2弾ピラ」の活用、志位委員長の案内動画のいっせいで拡散、近畿いっせいで宣伝、いっせいで縦線デーなど宣伝・案内の強化を

●成功へ活発な討論（発言順）

□和歌山 目標＝当初150カ所500人だったが500カ所1500人に。南地区は200カ所、北部地区は200カ所、700人に引き上げた。紀北地区はWiFiとプロジェクターを14台購入し貸し出す。タテ線＝比例選挙はタテ・分野が大事。労働・医療・業者・農業・学生・障害者・女性で対策。空白の地でも＝高野町では地区委員長が町議に働きかけ視聴会を組織。北山村には3区・畑野候補が入る。

□京都 1支部で5カ所、全体で5000カ所1万人目標。高齢化が進んでいる東地区では「ネット調査」。ある支部では5カ所で視聴できると回答。京都民報社は北地区で最高齢の支部を取材し、ネット挑戦ぶりを報道した。共産党は面白いことをやっているという話題にする。ポスターの下帯を4000枚、後援会対話用に3つ折りピラを作成。「2つの壁」＝ネットの壁、ライブ視聴＝打破へ討議資料を作成。

□滋賀 4地区すべてで北海道の経験報告の動画を視聴。3区では演説会と3.20視聴をセットで計画。県では街頭配布用の「名刺ピラ」、ポスターを作成した。志位委員長が来県したのは2015年。「志位委員長が直接訴えます」という宣伝が好評。1500人が演説会の最高。今回は350カ所、2200人目標。女性、労働、青年学生作戦を具体化。滋賀民報に「期待します」を掲載。

□大阪 取り組みをもっと強めなければと痛感。選対部長会議をオンラインで開催。①意義と魅力の徹底②「特別期間」の成功にとって決定的③ネットに習熟する機会にと確認。共産党の演説会は敷居が高い、と思っている人に「敷居がないのがオンライン演説会」と訴えている。宣伝カーの運行も。堺地区ではネットにたけた党員を協力者に募り、高齢の地区選対部長もネットに強くなろうと奮闘している。

□奈良 中間地方選挙が連続しているが、勝利にとってオンライン演説が大事。県として構え直す。ネットに強い党になろうと呼びかけているが、実際に選挙で活用しなければいけない。ポスターを500枚作成。

□兵庫 魅力と「近畿は一つ」を強調。職場支部と大経営での視聴に挑戦。門前ピラも配布する。入党働きかけの絶好機。県に援助チームをつくり、宣伝物ももっとつくる。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 10(2021.2.21)

オンライン体験を 中国ブロック志位演説会の視聴を 23日(祝)13:00～